

2016年3月27日

NO.140

事務所：西院下花田町9-25

電話：222-3728

携帯：090-3970-4701

山田こうじ共産党検索

まちかどの元気印

日本共産党

市会議員



山田こうじです！

バイバイ原発3・12きょうと

直前に大津地裁の仮処分決定が出され、高浜原発3・4号機の再稼働を禁止されるなか、円山公園で開催された「バイバイ原発きょうと」には2200人が参加しました。

スピーチをされた宇宙飛行士の秋山豊寛氏は「原発事故は人災。官民一体の犯罪だ」と厳しく批判し「『専門家』には任せられない」と訴えられました。

集会後、市役所までデモ行進。日本共産党の隊列のコールのリードし、元気いっぱい行進しました。



野党は共闘！

安倍暴走政治ストップ！

3カ月後に迫った参議院選挙。京都駅タワーホテル前で志位和夫委員長を迎えた街頭演説会が開かれました。

ゲストスピーカーの、岡野八代同志社大学大学院教授、「安保法制に反対するママの会@京都」の西郷南海子氏、毛利崇弁護士が「個人の尊厳を大切にする政治家を。人の痛みを感じ取れる政治家を」

「武器ではなく。暮らしにお金がまわるように」と力づくよく訴えられました。

志位委員長は、参議院選挙の構図は「『自民とその補完勢力』対『5野党プラス市民・国民』。32ある参議院1人区の全てで野党共闘の体制をつくり全力をあげると表明。4月の衆議院京都3区補選について「共産党との共闘を頑

なに拒む京都の民主党は残念」としつつ、「5野党合意を誠実に実行するという大局に立つて、候補者を立てず自主投票を決めた。『野党は共闘』の市民の声に応えた道理ある態度」と述べ、大きな拍手に包まれました。

大河原としたか京都選挙区候補は「憲法まで変えようという時、京都から正義を貫く議席を」と訴えひときわ大きな拍手が沸き起こりました。

京都経済の主役！ 中小企業支援を！

常任委員会が産業戦略ビジョン骨子案に対する質疑を行った。

地域経済が活性化するためには、域内再投資で経済の循環促進することが必要だ。

産業戦略ビジョンでは、ものづくりの高付加価値を目指し、中小・ベンチャー企業の育成・発展支援、成長分野における新産業・新事業創出支援を強調しているが、何より、家族経営で、地域でがんばる、中小企業の支援こそ大切だ。

短納期・単価たたくて苦しんでいる鉄工所の現状を紹介し下支えを求めた。先端技術のチャンスだというのが町工場の社長さんは「下町ロケット等、地場のものづくり中小企業の新たなチャンスというが、技術的にも体力的にもハードルが高い」と話されている。大企業の製品開発等、下請け中小企業が大きな役割を果たしているが、大量生産になれば単価をたたかれ深刻だ。雇用の創

出だと、大企業に、企業立地促進助成制度で支援し、雇用創出だといって、平成14年から島津製作所に最も多い3億7千万円の助成をしている。その大企業が雇用と下請けが切り捨てられている、現状を示し、実態調査もを行い、大企業に雇用を守り、下請け中小企業との公正な取引を行うよう指導を求めた

地域の持続的発展のためにも、地域社会の健全な発展に中小企業は欠かせない。



またもや、同時テロが発生しました。ベルギーの首都ブリュッセルで22日に、空港と地下鉄駅で相次いで爆発が起き、多数の死傷者が。世界中、いたるところがテロの脅威にさらされています。

アフガニスタン戦争以来、武力行使による犠牲が新たなテロを呼び起こす事態です。武力や空爆ではテロはなくせません。

こうしたなか、日本では戦争法が強行され、アメリカの対テロ戦争に自衛隊が借り出されようとしています。空爆ではなく、相手を思いやる心で、医療や食糧支援こそ必要です。



まごとおおきに
ヨ田んごうじ
NO.136